

令和元年8月13日
吉野川ダム統合管理事務所
松山河川国道事務所
大洲河川国道事務所
山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所
松山港湾・空港整備事務所

台風第10号が近づいています！

愛媛県内では洪水・高潮等から身を守る準備を！

～過去の類似経路を辿った台風では大きな被害～

- 気象庁発表による気象状況と予想に基づくと、今後の台風第10号の進行により、愛媛県内では、昨年7月豪雨規模、あるいはこれを上回る洪水となる可能性が否定できません。（別紙参照）
洪水による浸水、土砂災害や高潮・高波浪による災害も懸念されます。
- また、過去昭和45年など類似の経路を辿った台風では大きな被害が発生しています（別紙参照）。当時から河川の整備は進んでいるものの、施設の能力には限界があります。降雨・波浪等が当時の規模を超える可能性もあり、十分な警戒が必要です。
- 今後の降雨や潮位・波浪などの気象情報、ダムの放流情報、河川の水位等に注意していただくとともに、市町村からの避難情報が発令された際の行動について、今一度確認をお願いします。

本施策は、四国圏広域地方計画【No. 1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

【問い合わせ先】

※いずれも国土交通省 四国地方整備局の事務所・管理所です。

(銅山川水系のダムについて)

吉野川ダム統合管理事務所 電話 0883-72-3000 (代表)

副所長 かたい よしひで
片井 良英 (724-204)

○管理課長 とくい さとし
徳井 智 (724-331)

(重信川、石手川ダムについて)

松山河川国道事務所 電話 089-972-0034 (代表)

副所長 (河川) かさい ひろゆき
笠井 博之 (741-204)

○河川管理課長 いしかわ ひろし
石川 洋 (741-331)

(肱川について)

大洲河川国道事務所 電話 0893-24-5185 (代表)

副所長 (河川) あべ かつよし
阿部 勝義 (742-204)

○工務第一課長 みくに のりひと
三國 宣仁 (742-311)

(鹿野川ダムについて)

山鳥坂ダム工事事務所 (鹿野川ダム管理庁舎)

電話 0893-34-2350

副所長 (河川) いしおか かつひろ
石岡 克浩 (743-204)

○管理課長 しばた はるのぶ
柴田 治信 (743-331)

(野村ダムについて)

野村ダム管理所 電話 0894-72-1211 (代表)

専門官 (管理) たむら つよし
田村 剛 (744-330)

○専門官 (管理) しま みちひろ
志摩 道寛 (744-340)

(松山港、東予港などの直轄港湾施設について)

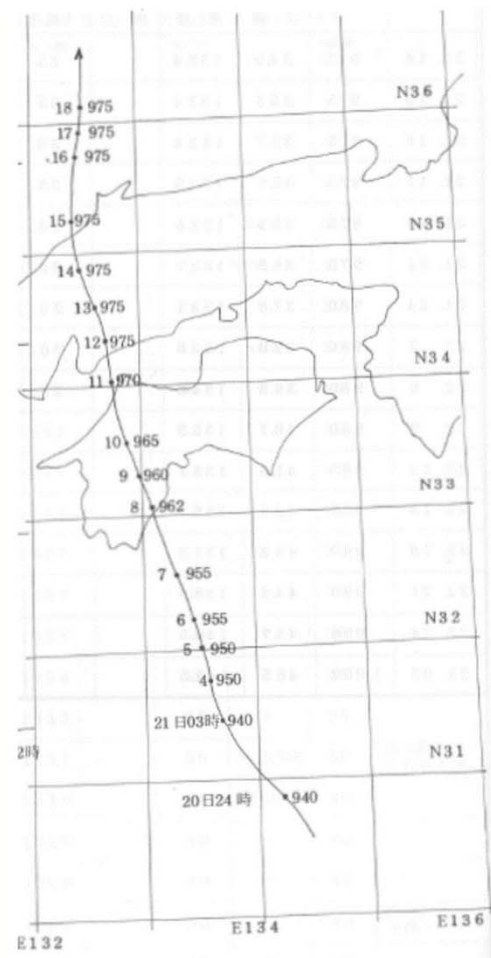
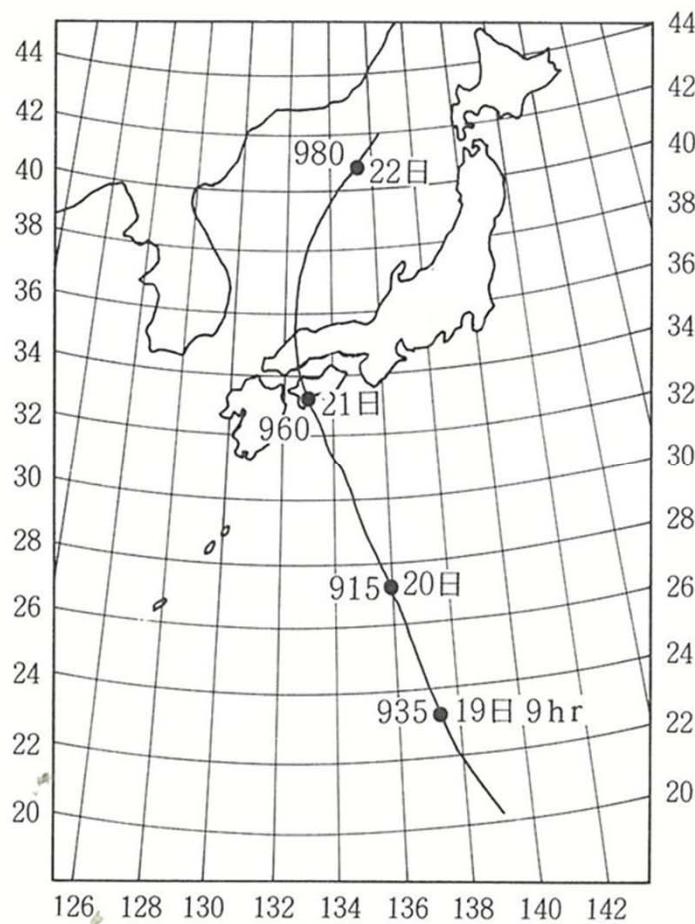
松山港湾・空港整備事務所 電話089-951-0161 (代表)

○副所長 (技術) しのはら もりまさ
篠原 守昌 (794-112)

前任建設管理官 こくかた こうじ
國方 康史 (794-135)

○主な問い合わせ先

- 台風第10号と予想進路が類似している「昭和45年8月台風第10号」では、大きな被害が発生している。

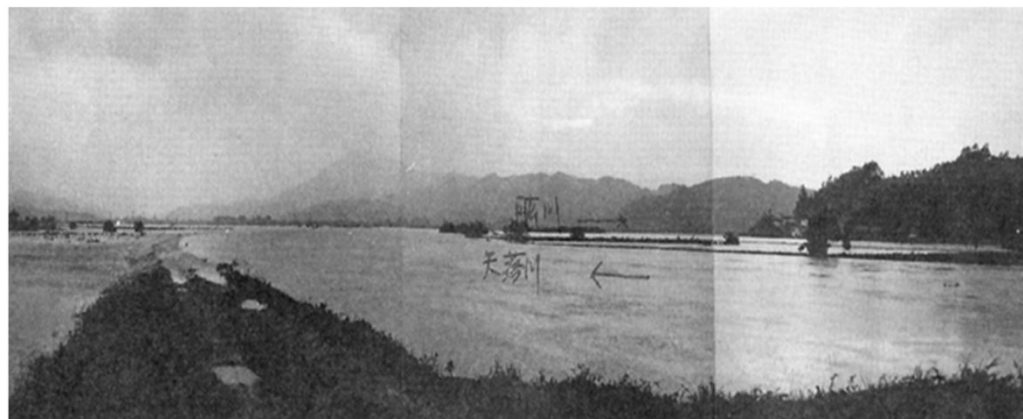


昭和45年8月台風第10号

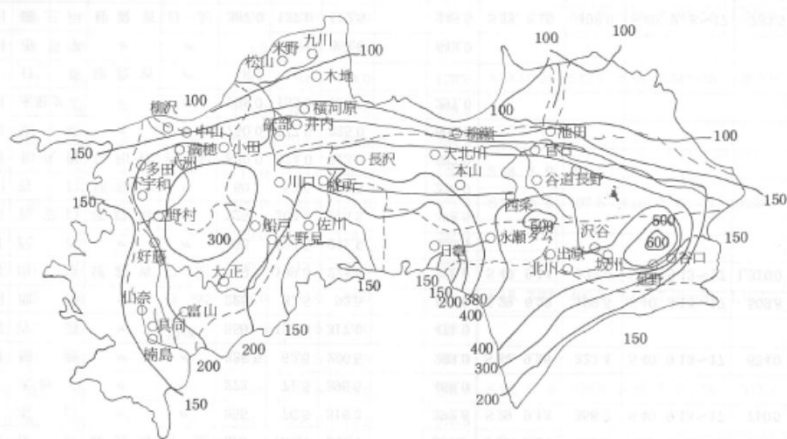
- 肱川水系肱川（基準地点大洲第二）では、5.50mの水位を記録。
- 無堤箇所より氾濫し、長時間滞水した。
- 出水により、7箇所において河川管理施設に被害が発生した。



国道56号の冠水状況(松ヶ花方面を望む)



松ヶ花橋付近より望む



総雨量分布図
(8月20日～8月21日)

	浸水面積
大洲市久米	0.87km ²
大洲市春賀	1.02km ²
大洲市八多喜	0.86km ²
大洲市その他	0.95km ²
大洲市大洲	3.47km ²
大洲市五郎	0.31km ²
長浜町柴	0.29km ²
長浜町白滝	0.21km ²

	被災箇所	被害状況
大洲市	1箇所	護岸:100m、根固:100m
長浜町	6箇所	護岸:590m、根固:1,230m

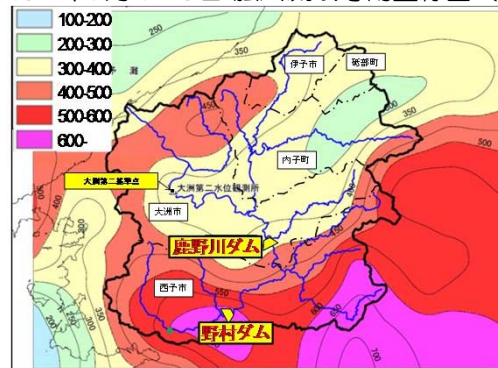
被害状況（肱川直轄区間）

- 肱川水系肱川（基準地点大洲第二）では、観測史上最大の水位を記録(詳細な水位の記録が存在する昭和38年以降)。肱川水系肱川が氾濫し、多くの家屋被害等が発生。
- 鹿野川ダム及び野村ダムでは、管理開始以降最大の流入量(それぞれのダムにおいて従来の1.6倍、2.4倍)を記録。また、鹿野川ダム及び野村ダムでは異常洪水時防災操作※を実施。

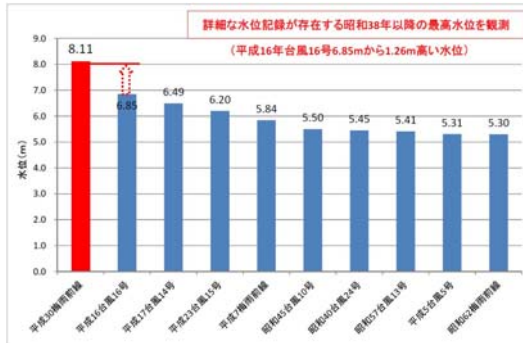
※異常洪水時防災操作：洪水調節を行っている中、ダムの容量が満杯に近づくと、ダムにこれ以上水を貯めることができないため、ダムの放流量をダムの流入量に近づける操作（ダムの流入量とほぼ同じ量を流す操作）を行うこと。

■ 鹿野川ダム上流域で450mm、野村ダム上流域で600mmを超える降雨を観測

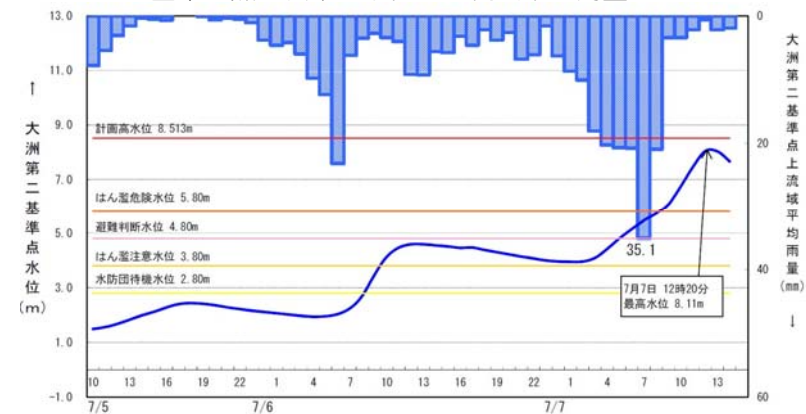
H30年7月4～8日 肱川流域等雨量線図 (mm)



基準地点大洲第二水位の最高水位の比較



基準地点大洲第二水位と上流域平均雨量



■ 浸水区域

大洲市各地区の浸水面積

地区名	浸水面積	地区名	浸水面積
肱川地域	40ha	久米地区	88ha
大川地区	445ha	新谷地区	28ha
菅田地区		五郎地区	52ha
肱南地区	15ha	三善地区	102ha
東大洲地区	462ha	八多喜地区	92ha
若宮・東若宮・徳森・田口地区		長浜地域	48ha

物的被害 (肱川流域)

※令和元年7月1日現在

被害の内容	被災数
全壊	395棟
大規模半壊	523棟
半壊	1,141棟
一部破損	16棟
床上浸水	22棟
床下浸水	788棟
損壊	7棟
浸水	1,064棟
事業所	1,037事業所

平成30年7月豪雨（肱川流域で戦後最大規模の洪水被害）



※内水による氾濫域も含む

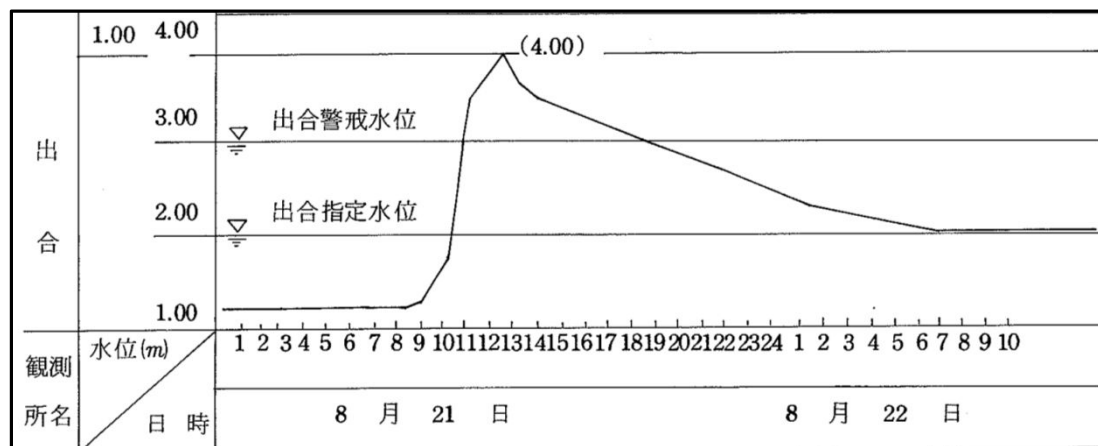
昭和45年8月台風第10号（重信川）

- 重信川水系重信川（基準地点出合）では、4.00mの水位を記録。
- 松山を直撃 水田冠水・床上浸水多数（浸水家屋等248戸）



出水状況（東温市横河原地区）

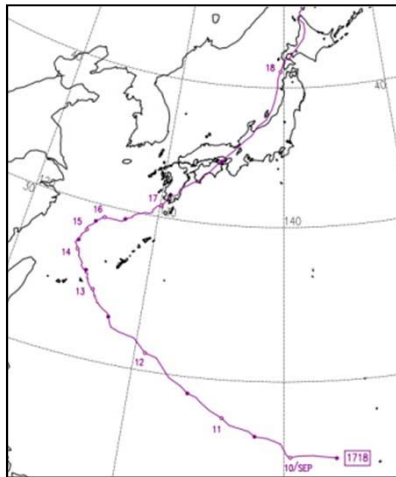
昭和45年8月台風10号 ハイドログラフ(出合地点)



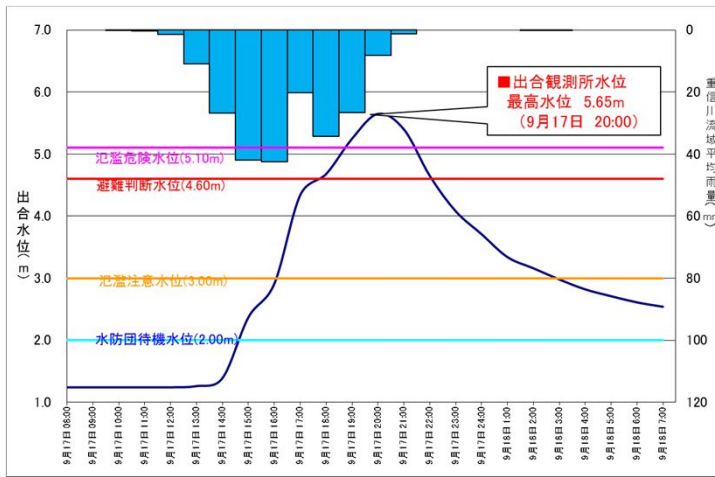
- 最高水位4.0m（出合水位観測所）
- 出合地点流量：1,400m³/s
- 最大日雨量：125mm/日（流域平均）

- 重信川水系重信川（基準地点出合）では、平成13年梅雨前線洪水を約70cm上回る観測史上最高となる5.65mを観測。
- 堤防漏水や護岸崩壊など、河川管理施設の被災を17箇所確認。

台風18号進路図

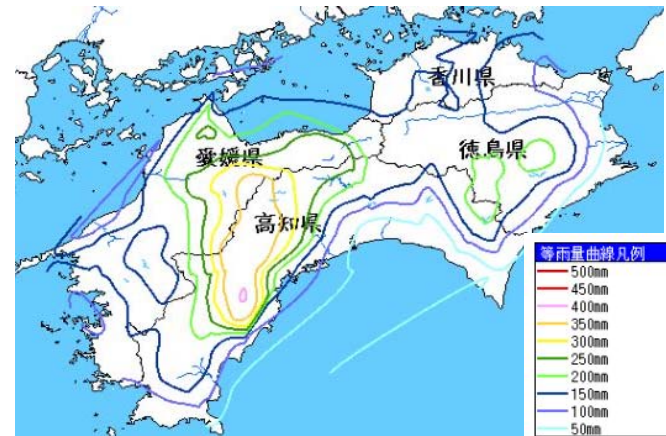


平成29年9月台風18号実績洪水ハイドロ・ハイトグラフ（出合地点）



出水状況
（出合大橋：9月17日19:00頃）

等雨量線図（9月17日～9月18日）



河川管理施設の被災状況